

5 「アントレプレナーシップ教育（起業家教育）」の推進

子どもたちが将来に夢や希望をもち、新しいことにチャレンジする意欲を育成するため、発想力や創造力を磨く体験活動の実施など、発達段階に応じたアントレプレナーシップ教育を推進する。

① 起業家マインド（起業家精神、アントレプレナーシップ）を育む教育

- ・チャレンジ精神（新たなことや目の前の新たな課題に挑む気概）
- ・志（やる気・動機）、情熱
- ・リスクを恐れない勇氣など

② 起業家的能力を身につける教育

- ・想像力、創造力、課題発見力、ポジティブ思考
- ・コミュニケーション力、論理的思考力、表現・プレゼンテーション力
- ・情報収集力、問題解決力、企画力、行動力、決断力など

「みつけ」Jobチャレ教育」の実践や教育活動に子どもたちの意見を取り入れるなど、子どもたちが体験したり、考えたり、振り返って活動を修正したりする学習を大切にする。

6 「地域とともに歩む学校づくり」の推進

1 学校教育活動・子どもの成長の様子の積極的な情報発信と開かれた学校づくり

- (1) 学校だより、学年学級だより、学校HP、配信メール等による積極的な情報発信
- (2) 地域・保護者、専門家の力を得た教育活動、授業、行事等の方法、内容の充実
- (3) 教職員一人一人が主体となり、今町小を支える保護者・地域・団体とともに推進する教育活動の充実

4 / 10 (水) 地域あいさつ運動



地域あいさつ運動の取組、ありがとうございました。多くの方々から参加いただき、気持ちよく4月のスタートが切れました。

環境整備をしていただきありがとうございます





つよく さとく やさしい子

今小だよ!

令和6年4月23日

No.2



HP アドレス <http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~imasho/>

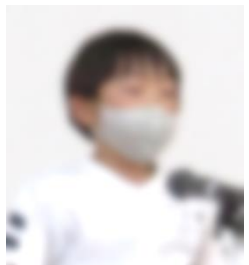
4 / 10 (水) 頑張りたいこと発表

4月10日(水)に2, 4, 6年生児童の発表がありました。新しい学年で頑張りたいことをしっかりと発表していました。紹介します。



2年1組

わたしが2年生で頑張りたいことは、三つあります。
一つ目は音読です。1年生の時は、毎日宿題以外にもたくさん読みました。1年生の3学期の音読カードは三十枚になりました。2年生でも毎日音読を続けていきたいです。
二つ目はかけ算です。たくさん練習をして、すらすら言えるようになりたいです。
三つ目はあいさつです。先生や友達に大きな声で自分から言えるように気を付けたいです。
2年生になったので、新1年生のお手本になれるように頑張ります。



4年1組

ぼくが4年生で頑張りたいことは、二つあります。
一つ目は学習です。3年生の時は、漢字が苦手だったので、4年生では、自学を頑張って百点をとりたいです。
二つ目は友達です。友達と仲良くして4年生でも友達をたくさん増やしたいです。
4年生になると、学習が難しくなってくるので、宿題や自学をちゃんとやって友達と仲良くして、楽しい一年間にしたいです。



6年2組

私が6年生になって頑張りたいことは、三つあります。
一つ目は、他学年に優しくすることです。6年生になると、ふたば班活動やクラブ活動、委員会活動などで他学年との関りが増えます。そこで他学年に優しくすることを心掛けたいと思います。
二つ目は、友達を増やすことです。五年間を共にした学年でも、まだ全員と仲良くなれていないので、卒業までの学校生活で同じ学年の友達、そして他学年の友達も増やしたいと思いました。
三つ目は、どんなことにも挑戦することです。今まで、私は嫌なことや苦手なことを避けていました。そんな私を変えたいと思い、「どんなことにも挑戦する」と決めました。今日、この場で話していることも私にとっては挑戦です。
これらの三つをめあてにして、いい一年間にしたいです。

教育目標 つよく さとく やさしい子

見附市の基本理念

ふるさと見附を愛する子ども
世に役立つことを喜びとする子ども

重点目標 互いに認め合い、高め合う子

- 【知育】 ○互いの考えを認め合って、共に学ぼうとする子
- 【徳育】 ○自分も相手も大切にし、互いのよさや違いを認め合う子
- 【体育健康】 ○規則正しい生活習慣を築き、共に高め合う子
- 【特別支援】 ○自分や友達のことを知り、友達に適切に接し、一人一人が出来ることを精一杯やろうとする子

令和5年度の学校評価より

- 知育: 「自分の考えをもち、それぞれ出し合い、聞き合い、関わり合う」 85% (A)
「学びで深まった自分を振り返って書く」 66% (B)
 - 徳育: 「自分には良いところがあると思う」 88% (B)
「学校で友達や先生、お客さんに進んであいさつしている」 89% (B)
「地域の人にあいさつしている」 88% (A)
 - 体育健康: 「自分で立てた目標に向け、仲間と認め合い・高め合う」 83% (A)
「適切なメディア時間と就寝時間を守る」 76% (B)
 - 特別支援: 「いろいろな友達に対する理解啓発授業を実施する」 →適切な接し方のできる子が多くなってきている
「UD・合理的配慮チェックシート」を活用し、分かりやすく安心な環境を整える」 70% (B)
- ※令和5年度の成果を生かし、令和6年度はより児童の力を向上させ、自己肯定感の向上につなげる。

1 「互いの考えを認め合って、共に学ぼうとする子」の育成

(1) 授業の充実

- ① 「やってみたい」と思えるような課題の設定 (他教科と関連、単元構成にストーリー、ICTの活用)
- ② 見通しを持たせる段階で、ペアやグループで話し合いを設定
- ③ 「考えを出し合う」対話と「再度考える」対話を2段階設定
- ④ 関わり合うための土台 (話の聞き方・話し合いの進め方) づくり
- ⑤ 振り返りのモデルや視点「わがとも」の提示
- ⑥ 話し合わせたい課題の質の向上
- ⑦ 自分の言葉で発言や発表に対して受け答えする場面の設定 (関わり合う姿の具体化)

(2) 各教科で必要な資質、能力の育成を目指した授業改善

- ① 身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業を推進し、それらを活用する場面を設定し、評価していくことで授業改善を図る。
- ② 課題を解決するには、どんな力が必要なのかを明確にし、この授業は、その力を身に付ける時間なのか、活用する時間なのかを考えて授業を構成し、改善につなげる。

2 「自分も相手も大切にし、互いのよさや違いを認め合う子」の育成

(1) 自己肯定感の向上

- ① 年間通したぼかぼかの木の活動（帰りの会や行事や活動と組み合わせて実施）
- ② 具体的な観点を提示したあいさつ運動の取組
- ③ 学習や生活などの様々な場面でよいところに気付くための工夫
- ④ 話をゆっくり聞いたり、継続して評価したりする機会を持つ。
- ⑤ 朝やあいさつ運動以外でのあいさつの意識を高めるための環境づくりをする。

(2) いじめ・不登校・問題行動等への的確・組織的な対応

- ① 「いじめ防止基本方針」等に基づき、問題の早期発見・即時対応、組織的な対応に取り組む。
- ② 「教職員の人権感覚」、「子どものよさを見抜く、悩みに共感する感覚」を磨く。

3 「規則正しい生活習慣を築き、共に高め合う子」の育成

(1) 互いの高め合いの向上

- ① 学習カードの活用などによる目標を明確にした運動の実施
- ② 目標達成のための練習時間の重視
- ③ 規則正しい生活習慣の振り返りと意識化（カードなどを活用）
- ④ 意識の向上（保護者や担任の見取り）
- ⑤ ICTの有効な活用方法
- ⑥ 運動時間とのバランス
- ⑦ 家庭と連携した適切なテレビ・ゲームの使用

4 「自分や友達のことを知り、友達に適切に接し、一人一人が出来ることを精一杯やろうとする子」の育成

(1) 特別支援教育の充実

- ① いろいろな友達に対する理解啓発授業を各学年の行事や実態に合わせて実施
- ② 自立活動を通した、相手の気持ちを予想したり、自分の思いを言葉で伝えたり、自分の行動を決めたりする学習
- ③ チェックシートを活用した日々の授業や教室環境を見直し
- ④ 事前に流れを示した学習
- ⑤ 指示の仕方や使う言葉の吟味
- ⑥ 子ども同士の間わり合い、認め合いを大切にした授業や活動
- ⑦ 「具体的な言葉」や「教室内の整理」の研修
- ⑧ 子どもたち自分自身による環境整理

(2) 特別支援学級担任と通常学級担任との連携、保護者・関係機関との連携

(3) 理解啓発授業やサポート学級における自立活動の充実、UD・合理的配慮チェックシートの活用等

(4) 個に応じた「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」作成と教育活動の推進

(5) 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもの実態把握と支援、個に応じた「個別の指導計画」による教育活動の推進